

# 会議報告書

令和3年7月31日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

## (1) 概要

議 題	「(仮称) 峰高エリア 100」整備の高校生 WS 会議の進行協議 概要報告
日 時	令和3年7月14日 午後5時30分～午後7時30分
場 所	ルーツ (京丹後市未来チャレンジ交流センター)
出席者	石嶋・田崎・稲本・川淵・大垣

## (2) 会議内容

- ・6/25に峰山高校の松下事務長との面談協議を行ってWSや整備を進める上での調整を行った。
- ・府立高校であることから、物品には「製造者責任」が担保されていることが必要で生徒などが制作する物などを学校施設に置くことはできない旨の指導があった。
- ・今後高校生のWSで大垣設計士が関われる範疇がないことが分かった

## (3) 意見交換内容

- 大垣氏と稲本氏より松下事務長との面談内容の報告説明と意見交換
- ・同窓会との協議の中で、校舎の改修を伴わない物品設置であれば府教委からの承認は得られると話していたが、更により明確にするなら、学校施設内の教室での使用であるので万一のことを考えると「製造者責任」のついた物となる。
  - ・家庭経営室(仮称エリア100)の運営については、生徒会のルールの範囲であるべき
  - ・松下事務長との面談調整により、大垣設計士が関われる範疇が全くないので、今後生徒が関わるWSなどの調整項目が無い。
  - ・事業部会として、昨日松下事務長に出会ってエアコン設置費の概算費用を聞く機会があったがその面談協議の件は話がなかった。
  - ・「製造者責任」の担保については初耳であり、今日まで高校生のアイデアや思いを大垣設計士が関われなかつたとの判断は致し方ないが、高校生の思いを可能な限り実現する事業としたい。
  - ・ハード部門への高校生の関りができないが、教室の使用運営などソフト面の検討をROOTS事業として継続していくことは可能
  - ・高校生のアイデアや思いの設計図面の発表会を7/21か7/28に設定して、生徒へハード部門への対応限界となったことを話すことが必要
  - ・同窓会としては、ROOTS活動を通じた生徒のWSを成果として捉ええて記念事業の内容を具体化させていただく
  - ・記念事業部会としては、在校生と一緒に100周年記念事業として関わった経過を同窓生へ披露していきたい。

### ※今後の日程について

- ・高校生のアイデアの設計図発表会を7/21か7/28に開催する

(4) 備考 学校施設へ、記念事業として物品購入寄付について自由度の限界が判明  
7/13に松下事務長から、学校内工事としてエアコン設置工事費は300万円程度ではと聞き取り